

配分金支払日のお知らせ

配分金の支払日は右のとおり、原則として翌月の15日の通常支払日、その15日が土・日・祝日の場合は金融機関の翌営業日払、連休が続く1月と5月は経理事務に日数を要するため支払日が遅れる特例支払日となります。

就業会員は就業報告書を必ず月末か翌月早々に事務所に提出し、事務処理にご協力ください。

今後の配分金支払い予定日

8月17日(月)	翌営業日払
9月15日(火)	通常支払
10月15日(木)	通常支払
11月16日(月)	翌営業日払
12月15日(火)	通常支払
1月18日(月)	特例支払日

検診のおすすめ

当センターでは、会員の健康維持のためガン検診や人間ドックの検診料の一部を助成しています。検診を受けられた会員は、「領収書」と「印鑑」を持参のうえ事務局までお越しください。

自分の健康は自分で守り、早期発見・早期治療に努めてください。

★具体的な助成内容(国保加入者の場合)

検診内容	助成額
胃・肺・大腸がん	500円
子宮がん	500円
乳がん	1,000円(全額)
国保ドッグ	自己負担額の1/3 ※1万円を上限

詳しくは、センター事務所へ

サボテンの花

事務所内に大野謙一会員が丹精込めて育てあげた開花直前のサボテンが届きました。

愛情を注ぐと花が咲くとされ、見事に4輪咲きました。



多種多様な詐欺が多発しています

デパート社員と警察官、金融機関職員を装った詐欺

デパート社員をかたる者から「カードで買い物しましたか?」という不審電話の後、警察官や金融機関職員などをかたる者から「カードが不正利用されている」などと電話があり、クレジットカードやキャッシュカードの提出を求められ、だまし取られました。

警察官や金融機関職員を名乗っても、他人にクレジットカードを渡したり、暗証番号を絶対に教えないでください。



他に、「NTTファイナンス」の名前をかたった架空請求詐欺、給付金代行詐欺、火災保険を利用したリフォームの勧誘など様々な詐欺が市内でも発生しています。

1人で不安にならず不審に思った場合は、最寄りの警察署や消費生活相談ダイヤル(23-3820)にご相談を。

事故等が発生したときの連絡先

会員が就業中や就業途上に交通事故や転倒してケガをして通院や入院したり、日常生活で都合により就業できなくなった場合、あるいは他に危害を加えた場合、作業体制の調整や事故の対応が必要となりますので、速やかに下記まで連絡して下さい。

平日：シルバー人材センター 23-4040

休日：業務係青山 090-3892-5813

編集後記

新型コロナウイルスの発生で、生活環境が一変した昨今、会員の皆様には体調の管理には充分気を付けて、不便ながらも毎日の生活を乗り切ってお過ごしくくださいますよう。

令和2年度の定時総会、安全大会も無事終え、これから夏本番の活動期間に入ります。心新たに、役職員、会員一同、気を引き締めて安全作業に徹し共に頑張りましょう。

ここに令和2年7月号「シルバーだより」をお届けします。(広報部会長 小林 均)

しべっ シルバーだより

令和2年7月号(47号)



東大通りのラベンダーと羊の放牧(会員 日下 強さん撮影)

おもな内容

- ・令和2年度定時総会の開催
- ・新役員紹介
- ・新しい安全標語
- ・講習会等の報告
- ・事務局からのお知らせ

登録会員数(7月1日現在)

男 179名 女 73名 計 252名

シルバー人材センター
(愛称 生き生きセンター)



全国シルバー人材センターの
ゆるキャラ

チエブクロー

公益社団法人 士別市シルバー人材センター

〒095-0015 士別市東5条7丁目

TEL (0165) 23-4040

FAX (0165) 22-4021

ホームページ http://shibetsusc.web.fc2.com/

令和元年度定時総会

定時総会が新型コロナウイルスの感染防止のために会場をホテルから集会場に変更するなどの対策を講じ、5月29日土別市勤労者センターにおいて、29名の出席と189名からの委任状のもとに開催し、報告・議案ともに原案通り承認・議決されました。

また、役員の内任期満了に伴い、2名が退任され、新たに2名の会員が理事に就任いたしました。



理事長挨拶 理事長 佐藤 準一

今回は新型コロナウイルスの発生に伴い、多くの団体が書面決議等で対応している中、当センターとして協議を重ね、少しでも通常の総会に近い形で会員が参加により合意形成を図るべきと考え、安全対策のもとに来賓挨拶もご遠慮いただき、開催することになりました。

シルバー人材センターは全国会員100万人を目指し、各シルバーは目標に向けて取り組んでいますが到達せず、会員数が前年度割れをしないよう会員確保に努めている状況です。定年延長や再雇用の延伸といったシルバーにとっては逆風の中、当センターはここ数年殆ど変わらない会員数を維持していますが、基幹産業の農業を支える会員や市民生活を守る流雪溝や除排雪の就業会員が会員の高齢化などにより不足し、市民の期待に応えられないのが現状です。

受注金額におきましては全道的には受注金額が大きく減額となる中、当センターでは、降雪量の激減があったものの、若干の受注額減となりました。

決算につきましては、前年度に引き続き1億4千万円台の受注額を確保でき、通年就業の事業所、夏季作業の増加など、依頼先各位の心強い支援の賜物と感謝申し上げます。事業収支は、平成25年度に公益社団法人となって以来、初めて好ましい収支報告ができる結果となりました。

一方、令和2年度事業計画及び収支予算は理事会で議決され、報告案件としていますが、補助金が市の財政状況から若干の減額となり、その中でシルバーの予算策定といたしましたが、引き続き市からの更なるご支援を願うところであります。

今回の新型コロナウイルスにより痛手を被った個人事業主、中小企業が多く、経済の縮小が予想され、これほど周辺社会が劇的に変化することは予測できませんでしたが、少子高齢化による労働力不足は否めず、高齢者への労働力が求められる時代は続くものと考えます。

これに因應するために、就業を通じて高齢者の福祉の増進に寄与し、シルバー事業の基本理念であります「自主・自立、共働・共助」のもと、これまで以上に役職員、会員が一丸となって、地域社会の期待に応えるよう、事業を推進して参ります。

一方の重要な柱に安全対策があり、会員による就業中の事故は依然として発生し、会員が事故を起こさない、事故に遭わないよう、事故の防止に向け、日常の取り組みが重要となっており、「安全はすべてに優先する」を基本スタンスとし、「事故防止は自らの責任である」ことを認識していただき、会員を事故から守るため、「事故ゼロ」を掲げ、安全対策に努めて参ります。

また、道や北海道シルバー人材センター連合会の指導を仰ぎながら、市民や会員の声に耳を傾け、事業の推進を図っていかねばなりません。

シルバーの存在は市民と会員の皆様の支えの賜物であり、ご忌憚のないご意見を拝聴いたしたく、定時総会の開会のご挨拶といたします。

議事概要

山田保秀会員の議事進行により、佐々木事務局長から報告と議案の詳細説明のもとに、監事の五十川寧弘からの監査報告もいただき、新役員候補者も全員承認され、総会を終えました。



夏期の就業作業のご紹介

つくも水郷公園管理



管理棟管理の会員が暑い夏を涼む「つくもビーチ」を清掃



手漕ぎやパダルのボートの貸出し作業



スピード感あふれるゴーカートと幼児用バッテリーカーの貸し出し



運動広場を4台の乗用ロータリーモアで一気に草刈

施設清掃



今年から新たに受注した土別翔雲高校の施設清掃

草取と草刈



通行車両に注意して街路の草取



市役所新庁舎前を飛石に注意して草刈



朝日班による朝日ヶ丘公園の草刈

剪定



市立病院横のヒバの剪定

園児送迎



幼稚園バスの運転と送迎補助の派遣業務

新役員による理事長等の選任

定時総会で13名の役員が選任された後、臨時理事会が開催され、互選の結果、理事長、副理事長、常務理事とも全員再任されました。

理事長 佐藤 準一

副理事長 青山 昭雄

副理事長 小林 均

常務理事 佐々木 勲

新任の理事は、森下政志さん、山川松雄さんの2名で、今回で理事を退任される坂野光則さん、坂本憲洋さんから、ご挨拶をいただきました。

なお、理事であった黒川仁さんは今年2月に急逝され、ご冥福をお祈り申し上げます。



退任された坂本憲洋理事(左)と坂野光則理事(右)からのご挨拶



後列左から佐々木常務理事、宮澤理事、柴山理事、森下理事、沼田理事、山川理事
前列左から高橋監事、五十川監事、青山副理事長、佐藤理事長、小林副理事長、長谷理事、須藤理事

新しい安全標語

当センターでは安全就業対策の一環として、会員自らが安全就業について考えることで、安全に就業する意識をより一層高め、事故防止を図ることを目的として「安全就業標語」を定めています。

今までの標語が4年経過したため、今年2月に新しい標語を会員に募集したところ、42件の応募があり、3月に安全就業対策委員会選考会で次のとおり決定しました。

選考の結果

最優秀賞 中條 忠重さん作

「無理するな 急ぐ先には 危険あり」

優秀賞 榊 清悦さん作

「老来の 匠の技で 無災害」

優秀賞 中島 修さん作

「積み重ねた智識と経験 活かしてめざす 事故ゼロを！」

また、全国シルバー協会の安全就業スローガンも本年度からは次のとおりです。

「いつまでも 働く喜び 無事故から」



最優秀賞の中條忠重さんへ記念品授与

安全就業対策委員会

6月26日に委員会が開催され、新たに委嘱された委員7名の互選により、委員長等が決定しました。

委員長には青山昭雄さん、副委員長には工藤利一さんと小林均さんがそれぞれ再任され、本年度の活動方針と事業計画について確認し、今後、就業時の災害、事故などの防止により、会員が安全で安心な就業機会の確保に向け活動していただきます。

刈払機による飛石防止の対策が大きな課題で、会員皆さんの意識向上とご協力をお願いいたします。



交通安全教室

4月17日に、新型コロナウイルス感染防止のため、今年は、作業前に事務所駐車場の屋外で土別市交通安全運動推進委員会による交通安全教室として交通安全教育隊の高橋賢江さんからご講話をいただきました。

最近では静かなハイブリット車が多く、気付くのが遅れることや、しゃがんで草取りして立ち上がった時の立ち眩み、自転車では後方を必ず確認することなど、ご指導いただきました。



刈払機講習

5月19日に、刈払機による飛石などによる事故が毎年数例発生しているため、草刈班の新規就業会員を対象として、講習会を開催しました。

リーダーから機械の取り扱い方や双方の距離の置き方、刈払作業の姿勢など、基本的な操作方法を習得していただきました。センターから貸与している機械なので、長期間、故障せずに活用していただくようお願いしました。



安全大会

7月1日早朝に安全就業強化月間にあわせた安全大会を事務所前で開催しました。

44名の参加のもとに、就業先まで利用する自転車についてタイヤやブレーキなどの点検を実施後、新たに選任された安全就業対策委員の青山昭雄委員長から、事故ゼロに向けて各班による徹底した安全パトロールの実施など、本年度の活動方針と事業計画が伝えられました。

最後に、安全標語を会員みんなで斉唱し、常に安全・安心な就業が最重要課題であることを再認識していただきました。

